

事業番号	11 05 02	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	河川一般管理費				担当課	部局	建設部	
						課・室	河川課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	4-1	地域防災力の向上		実施期間	M29 ~		
		4	災害に強い地域づくり					

### 1 事業の概要

目指す姿	○河川巡視員等の配置により、河道及び河川管理施設の異常、不法占用、不法投棄物の早期発見及び是正により適切な河川管理を行う。 ○傷害保険加入により河川愛護および河川モニター活動環境の充実を図り、持続的な活動及び広がりを支援する。 ○岩石採取及び砂利採取に伴う災害の防止を目的とした講習会、現場指導を実施し、災害防止に向けた取組を促進する。 ○河川の付け替え等により生じた廃川敷地の売払いや交換を計画的に進めることにより、河川敷地の適正な管理を行う。		
現状(予算編成時)	○河川敷地の不法投棄は減少しているものの、近年の河川パトロールにおける廃棄物の回収量は10t前後で横ばい状況にある。 ○愛護活動者の高齢化が進んでいるほか、近年の活動人数は横ばい状況にある。 ○廃川敷地の測量及び鑑定を実施して、計画的に廃川処理を行っている。 ・河川巡視実施距離(延べ延長) H25年度:6.9万km ・河川愛護活動人員(延べ人員) H25年度:16.6万人		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 実施中	河川法、砂利採取法、採石法、長野県水環境保全条例

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	・河川巡視実施距離 6.0万km/年(延べ延長) ・河川愛護活動人数 16.6万人/年(延べ人数)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1	河川巡視員設置	直接	河川巡視員配置(延べ配置日数:2,160日/年)	17,191	16,504	17,966
	2	河川愛護活動支援事業	直接	活動者の傷害保険の加入 愛護団体標識の設置	1,170	1,051	1,068
	3	河川モニター設置	直接	モニター活動者の傷害保険の加入	59	59	59
	4	採石、砂利採取災害防止講習会等	直接	採石、砂利採取災害防止講習会、岩石採取場災害防止技術指導、職員現場講習会	460	747	462
	5	河川名標識設置	直接	河川区域境界杭設置、河川起点杭設置、河川名標識設置、河川注意標識設置	532	401	521
	6	廃川敷地不動産鑑定等	直接	廃川敷地測量 廃川敷地不動産鑑定	5,834	6,525	5,788
7	河川占用台帳電算処理	委託	河川占用許可台帳システム保守業務	616	540	540	
8	河川維持管理システム整備	委託	河川維持管理システム整備業務	2,376	530	0	
9	諏訪湖環境改善検討事業	直接	-	-	-	83,612	
			合計	28,238	26,357	110,016	

事業コスト	区 分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	35,397	24,867	28,238	110,016
	補正予算	0	0	0	0
	合計(A)	35,397	24,867	28,238	110,016
	Aの財源				
	一般財源	0	0	0	83,612
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0
	その他	35,397	24,867	28,238	26,404
決算額(B)	25,767	19,754	26,357		
概算職員数(人)	0.26	0.26	0.32	0.32	
概算人件費	2,147	2,147	2,648	2,648	
概算事業費(B(A)+C)	27,914	21,901	29,005	112,664	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
河川巡視実施距離	6.1万km	6.0万km	6.2万km	達成	6.0万km
河川愛護活動人数	17.3万人	16.6万人	17.2万人	達成	17.3万人

目標に対する成果の状況	・河川巡視実施日数の増加により、河川の日常管理の充実を図ることができた。 ・河川愛護活動人数の増加により、良好な河川環境の保全を図ることができた。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 住民との協働による河川の維持管理を推進するため、平成28年度以降も引き続き、活動を支援(報償費、傷害保険の加入等)を継続するとともに、平成25年度から「わがまちの川」美化事業を導入し、作業しやすい環境づくりを進めることで、将来にわたり、活動の継続と活動者の増加を図る。
--------------------	---